

授業科目名・形態	精神科リハビリテーション学Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	田中 誠	開講期	3年後期	単位数 2

【授業の主題】

この講義では精神保健福祉の理論と相談援助を展開する上での理念や基本原則等の理解を基盤として、具体的援助におけるプロセス、技法を学んでいく。また多職種等との連携、社会資源の活用等の視野も広げていく。またこれまでの豊富な実践例をテキストの内容に当てはめ、理論の解説を講義の内容としたい。さらには国家試験を視野に入れた講義も試みたい。

【到達目標】

- 1) 精神保健福祉の理論と相談援助の展開方法の概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。
- 2) 精神保健福祉の理論と相談援助のプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用方法について理解する。
- 3) 地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 アウトリーチサービス
- 第 2 回 家族教育プログラム
- 第 3 回 精神科チーム医療の概念
- 第 4 回 多職種との協働・連携の技術
- 第 5 回 多職種との協働・連携の技術
- 第 6 回 リハビリテーションチームにおける P S W の役割。
- 第 7 回 リカバリーの展開 ピアカンセリング
- 第 8 回 多文化ソーシャルワーク、アンチステグマ
- 第 9 回 バイスツェクの 7 つの原則
- 第 10 回 医学（治療）モデルと生活モデル及びストレスモデル（具体的例を用いて）
- 第 11 回 地域を基盤としたリハビリテーションの考え方①
- 第 12 回 地域を基盤としたリハビリテーションの考え方②
- 第 13 回 地域における資源の動員とネットワークングの実際①
- 第 14 回 地域における資源の動員とネットワークングの実際②
- 第 15 回 スーパービジョンとコンサルテーション

【授業実施方法】 講義形式

【授業準備】 事前に教科書を読んでおくこと。

【主な関連する科目】 精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ 等

【教科書等】 「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」
「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」 弘文堂

【参考文献】 随時、講義の中で紹介する

【成績評価方法】 筆記試験 80%、授業態度 20%により総合して判断する。

【学生へのメッセージ】

本講義は精神保健福祉専門職の視座、技術、役割、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である。精神保健福祉士を目指す学生は、積極的かつ情熱的に知識の習得を目指してほしい。